

「介助犬に助けられた！～ 介助動作①：持って来て ～」



介助犬が、落としたものを拾ってくれたり、靴を脱がせてくれたりするお仕事を「介助動作」と言います。これから数回にわたって、介助動作と実際に起こったエピソードをご紹介しますと思います！第1回目は我らがダイキチ君の「でかした！」お話です。

「持って来て」練習中のダイキチ

それにしても、この夏は暑かったですね！脊損さんには耐えられない毎日だったのではないのでしょうか。

そんな暑い夏の大阪・・・どこでも一緒の藤原さんとダイキチは、駐車場で車に乗り込みました。ドアを閉めようと手を伸ばした時「あっ！」手が滑り、藤原さんは真っ逆さまに車から転落です。車いすもスマホも、もう車の中・・・ここは夏の大阪、太陽の照り付けるアスファルトの上・・・この状況ではいくらサーフィン世界4位の藤原さんも、天を仰ぐばかりで車へ戻ることが出来ませんでした。その時「そうだ ダイキチがいる！」・・・「ダイキチ！テイク ケータイ！！」ダイキチは車の中からスマホを探し、藤原さんへ持って来てくれたのです。「グッド！ダイキチ グッド！」 宿泊先のホテルへ電話をかけ、助けに来てもらうことが出来ました！ダイキチがいなかったらどうなっていたか、脊損さんなら想像するだけで怖いですね。介助作業「持って来て」は、介助犬が覚えている物なら、探して手元に持って来てくれます。車いすユーザーにとって恐怖のでもある「転倒転落」・・・そんな時、緊急連絡手段として携帯電話を持って来てもらい、難を逃れた介助犬ユーザーはとてもたくさんおられます。「介助犬がいて良かった！」そんなエピソードを、次回もご紹介します。お楽しみに！